

団体名 公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会

令和6年度孤独・孤立対策担い手育成支援事業交付金 事業実施報告書

【事業内容】

1. 事業実施の概要

これまでの福祉政策の一環として進めてきた要介護高齢者への支援、障害者への支援、子育て支援、生活困窮者への支援など、個別に対応してきた施策について、地域を主体とした住民同士の関係性を育む「地域づくりへの支援」に転換すべく新たな事業を推進する部署として、令和6年度より「共生社会推進部」を創設し、地域福祉の視点で孤独・孤立対策を推進してきている。その共生社会推進部が、孤独・孤立対策担い手育成支援検討委員会をはじめとする当該事業の事務局を担い、多世代交流拠点の整備、フレイル予防拠点の整備をはじめとする事業開発を公民連携の上での推進など、当会の機能をフルに活用し、自治体をはじめ様々な団体と協働して当該事業に取り組んだ。

2. 具体的な取組内容

(1) 孤独・孤立対策担い手育成支援検討委員会の設置運営

神奈川県内をはじめ関連する地域において、孤独・孤立対策に取り組む活動団体の発掘、及び団体の活動に対する相談支援に取り組むために、神奈川県及び他県における孤独・孤立対策に係るネットワーク組織の構築を図ることを目的として設置し、①団体の発掘に関すること、②団体の活動に係る実態や課題の把握に関すること、③団体の活動に係る情報の整理と共有に関すること、④団体の活動に対する相談支援への取り組みに関すること、⑤構築した対策ネットワークを推進するための仕組みづくりに関すること等の協議を図った。

(2) 孤独・孤立対策に取り組むNPO等の発掘

- ・ 神奈川県においては、当会が運営する3つの情報プラットフォームである①障害福祉情報サービスかながわ、②介護情報サービスかながわ、③子育て支援情報サービスかながわを活用し、「緩やかなつながり」を実践しているNPO等の発掘に取り組んだ。

また、①～③のプラットフォームと合わせて、県内自治体や関連のある団体へ情報提供を行い、より多くのNPO等に情報を届けた。

- ・ 他県については、神奈川県の取り組みと並行して、山梨県社会福祉協議会と連携し、常時、情報交換に努め、山梨県内のプラットフォーム「わたあめ」に参画した。今後は、そのネットワークを活用し情報提供を行っていく。

2. 具体的な取組内容（続き）

（３）担い手育成のキックオフを宣言

神奈川県内においてフォーラムを２回に亘って開催した。１回目は、高知県内のフレイル予防活動団体と県内フレイル予防活動団体等の交流なども図りながら情報交換会形式で実施した。２回目は、参加団体のネットワークが構築できるように交流の機会とすべく開催し、第１部として本事業の説明を盛り込んで孤独・孤立対策の概要等に関する基調講演を行い、第２部としてシンポジウムを行い、行政、ＮＰＯ法人、自治会の３者による活動の実践事例の発表と情報交換を行った。

（４）ＮＰＯ等に対する伴走型支援

- ・ 当会における共生社会推進部が窓口となり、各団体からの一つひとつの細かい内容について、面談やオンラインを活用しながら、伴走型支援を随時行った。
- ・ 他県においては、オンラインも活用して伴走型支援を行った。

（５）モデル団体の紹介

- ・ 当会が毎年度開催している「かながわ福祉サービス大賞」において、モデル的な活動が始まった団体を紹介するとともに、新たな繋がりづくりの機会を創出した。
- ・ 高知県の活動団体に対して、情報交換会（フォーラム）により、県内三浦市内の取り組みを紹介し、サロンの必要性を感じていただくことができ、高知県仁淀川町におけるサロン活動の開始に向けた取組が始まった。
- ・ その他、県内外の先駆事例に関して情報収集を行い、必要に応じて視察に出向いて関係形成に努め、今後の活動において連携や、他団体へのモデル紹介などに備えた。

（６）成果物作成による周知

継続的な孤独・孤立対策の機運に結びつけていくため、フレイル予防に関するリーフレットを作成し、孤独・孤立対策をはじめとした地域共生社会づくりにおいて、「我がごと」となるようにメッセージを伝えた。

※ 全体的には、事業の初年度ということもあり、関連する期間との関係づくりやネットワーク構築、啓発が主たる取り組みとなったが、次年度以降の明確な方向性も定まって、継続的な活動の環境づくりが行えた。

3. 事業の目標に関する客観的な指標の達成状況及びその評価

【目標に対する評価】

(1) 周知団体数：県内全域 100 団体

当会の情報プラットフォームをはじめ、神奈川県内の当該事業に関するプラットフォーム（生活援護課）、NPO法人のネットワーク（NPO協働推進課）などにより、100 団体以上の周知を行うことができた。

(2) 伴走支援団体数：神奈川県・他県 それぞれ 30 団体

延べ 20 団体に対して行った。目標達成には至っていない。

(3) フォーラム：神奈川県・他県 各 1 回 定員 250 名

※オンラインとのハイブリッド

県内で 2 回開催した。うち 1 回は高知県内の活動団体の参画により実施した。県外での開催は実現できなかったが、成果としての目標は達成できたのではないかと評価する。

また、人員に関しては、1 回目が 30 名、2 回目が 43 名と数値的には目標を達成できなかった。

(4) 研修会や経営相談会：神奈川県・他県 各 3 回

実施に至らなかったため、目標は達成できていない。

(5) 表彰や紹介：神奈川県・他県 それぞれ 3 団体

神奈川県内のみとなったが、8 団体のプレゼンテーション及び表彰を行ったほか、過去受賞者等 2 団体のゲストトークを行った（計 10 団体）。

(6) リーフレット（成果物）：神奈川県・他県 各 5000 枚

一部の活動団体への配布にとどまったため、目標は達成できていない。

(7) その他（委員会）

委員会を設置して 3 回開催し、組織的かつ計画的に事業を進めることができた。